【Photo Album】　初秋 西神戸・東播磨の郷の風物詩　　R0410EHarimaweb.pdf

東播磨の田園地帯　初秋の里の絶景を訪ねて原チャリで駆ける　2022.9.12

- ◆ 酒米「山田錦」の郷 稔りの畔を飾る酒蔵の旗・飛び鮎の闘竜灘・きすみ野のそば畑
- ◆ 世界大戦の歴史をそっくり残す加西市の鶉野飛行場滑走路跡地を初めて見学しました



東播磨　初秋の風物詩　田園地帯の景色　　本当にうれしい風来坊　初秋東神戸を爽快に駆け抜けた原チャリWalkになりました。



Web Book　https://infokkkna2.com/ironroad2/2022htm/walk19/R0410EHarimaweb.pdf

VIDEO 動画　https://infokkkna2.com/ironroad2/2022htm/walk19/R0410EHarima.mp4

【Photo Album】　初秋 西神戸・東播磨の郷の風物詩　　掲載内容

東播磨の田園地帯　初秋の里の絶景を訪ねて原チャリで駆ける　2022.9.12

https://infokkkna2.com/ironroad2/2022htm/walk19/R0410EHarimaweb.pdf





- ◆　酒米「山田錦」の郷 稔りの畔を飾る酒蔵の旗・飛び鮎の闘竜灘・きすみ野のそば畑
- ◆　世界大戦の歴史をそっくり残す加西市の鶉野飛行場滑走路跡地を初めて見学しました

個別 Photo File

■ 西神戸でみつけた小さい秋 ①　　初秋　夏から初秋へ

https://infokkkna2.com/ironroad2/2022htm/walk19/R0410EHarimaPhotoAA.pdf

◎. 中秋の名月　&　我が家の庭で珍しい花が咲きました

◎. お彼岸を待ちかねて　里を飾る真っ赤な彼岸花と秋の七草のひとつ「葛」

■　東播磨の初秋　　秋迎えの風物詩

1. 酒米山田錦の郷　　稔りの畔に翻る酒蔵の旗　　三木市　細川 & 加東市　木梨

https://infokkkna2.com/ironroad2/2022htm/walk19/R0410EHarimaPhotoA.pdf

2 川床に奇岩・怪岩が連続する加古川の中流

岩に阻まれた激流が水しぶきをあげて流れる闘竜灘　　加東市 滝野

https://infokkkna2.com/ironroad2/2022htm/walk19/R0410EHarimaPhotoB.pdf

3. 世界大戦の歴史をそっくり残す鶉野飛行場滑走路跡と戦争遺産

旧日本海軍の練習航空隊の飛行場跡　　加西市 鶉野(うずらの)

https://infokkkna2.com/ironroad2/2022htm/walk19/R0410EHarimaPhotoC.pdf

4. 小野市きすみ野　蕎麦畑一面を真っ白にする蕎麦の花　　小野市 小野町 きすみ野

https://infokkkna2.com/ironroad2/2022htm/walk19/R0410EHarimaPhotoD.pdf

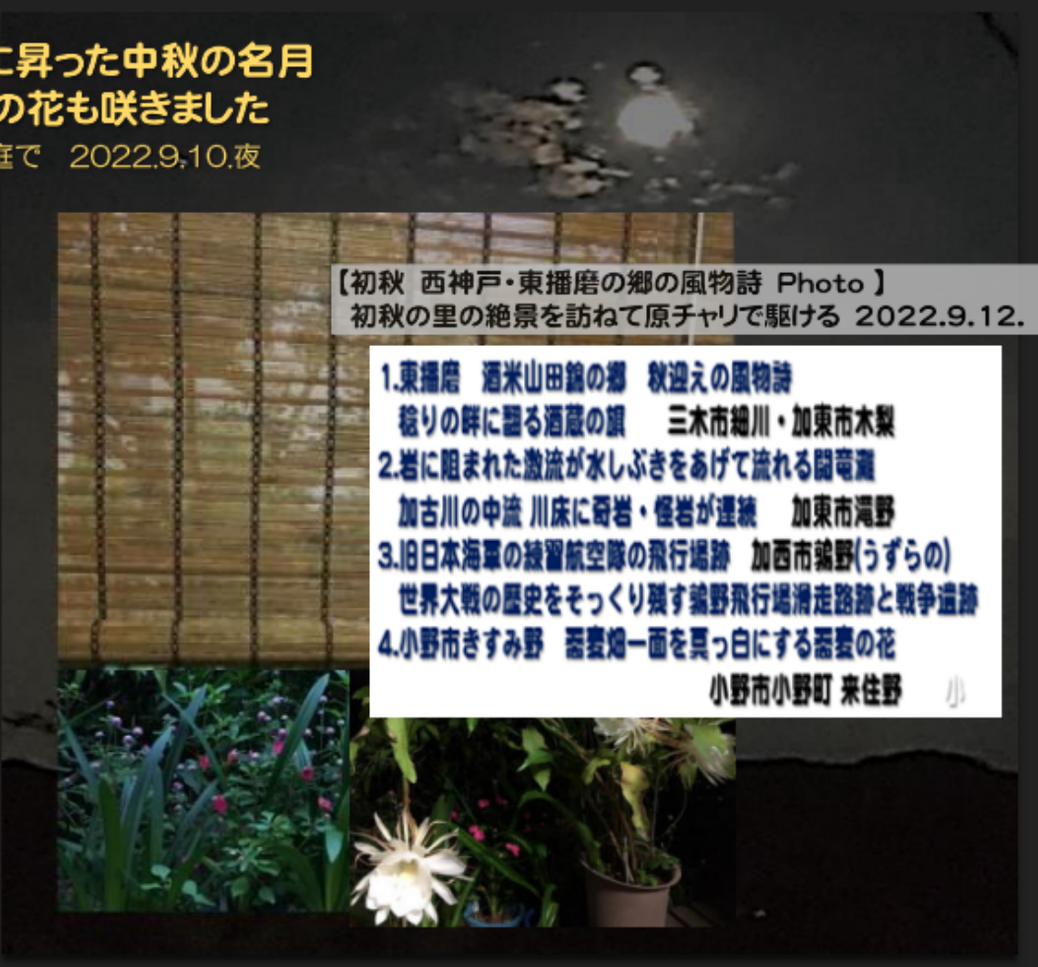
◆. まとめ　Photo「東播磨 初秋の風物詩」

https://infokkkna2.com/ironroad2/2022htm/walk19/R0410EHarimaPhotoE.pdf

■ 西神戸でみつけた小さい秋 ②　西神戸　秋の夕景

https://infokkkna2.com/ironroad2/2022htm/walk19/R0410EHarimaPhotoBB.pdf

高取山の上に昇った中秋の名月
月下美人の花も咲きました
我が家の庭で　2022.9.10.夜

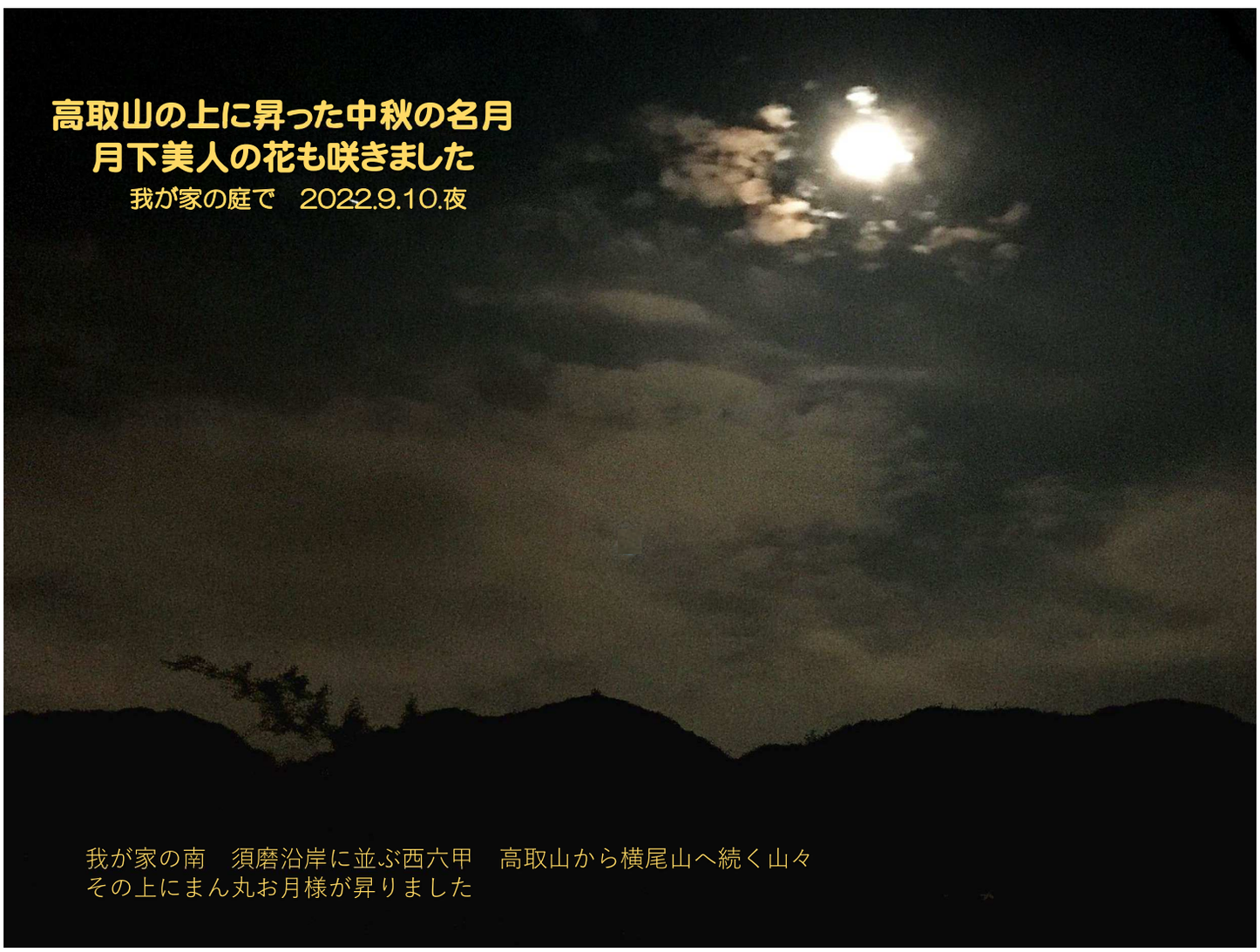


高取山の上に昇った中秋の名月
月下美人の花も咲きました
我が家の庭で　2022.9.10.夜



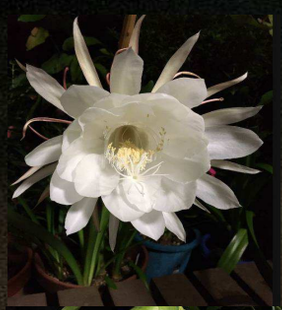


我が家の南　須磨沿岸に並ぶ西六甲端の山々　その上にまん丸お月様が登りました
お月様の左の星は木星か?



我が家の南　須磨沿岸に並ぶ西六甲　高取山から横尾山へ続く山々
その上にまん丸お月様が昇りました

高取山の上に昇った中秋の名月
月下美人の花も咲きました
我が家の庭で　2022.9.10.夜





我が家の南　須磨沿岸に並ぶ西六甲　高取山から横尾山へ続く山々
その上にまん丸お月様が昇りました

高取山の上に昇った中秋の名月
月下美人の花も咲きました
我が家の庭で　2022.9.10.夜



我が家の南　須磨沿岸に並ぶ西六甲　高取山から横尾山へ続く山々
その上にまん丸お月様が昇りました

夏から初秋へ
2022.9.21.　我が家の庭で

7月下旬　「今 蒔いたら秋には咲くよ」と
佐用のひまわり畑でもらった種
半信半疑でしたが、こんなにきれいに
咲 きました　2022.9.18.



庭に一鉢だけ残っていた「レンゲショウマ」　2022.9.12. 自宅の庭で
花言葉は「伝統の美しさ」　日本の固有種　一族一種の珍しい花という



東北地方　深山のやや湿った林床に多く見られるというが、
関西では見かけぬ花　俯いて咲く花　下から見上げて撮りました
家にこんな山野草があったのか・・・・と



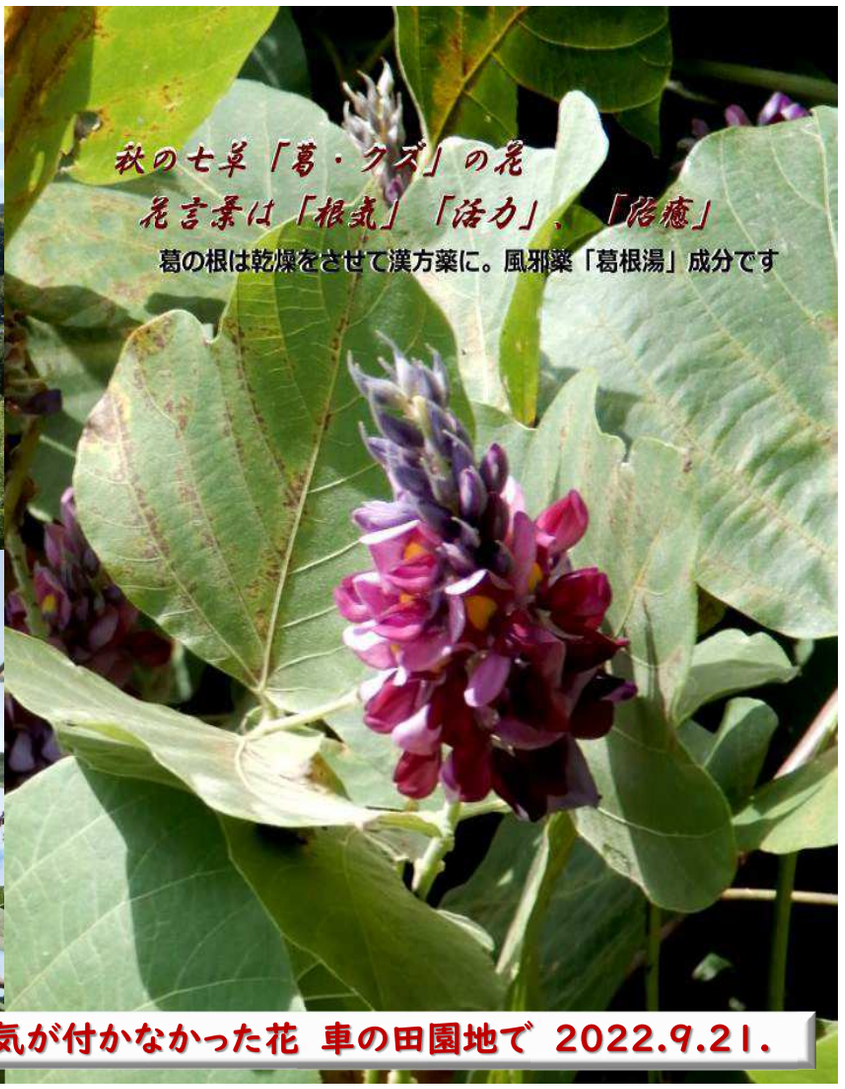




「レンゲショウマ」　花言葉は「伝統の美しさ」　2022.9.12. 自宅の庭で
日本の固有種　一族一種の珍しい花という
俯いて咲くので　ついつい見逃していました　随分前から庭の片隅にあるという。
黄色い花が咲く「キレンゲショウマ」も一鉢あったのですが、消えてしまいました







秋の七草 「くずの花」 今まであまり気が付かなかった花 車の田園地で 2022.9.21.



いつもながら お彼岸と共に 近くの田園や街角で一機にヒガンバナも咲きだしました
須磨 若草の丘近隣で2022.9.23.







青田から稔りの秋へ　西神戸の田園地帯　伊川谷小寺の里で　　2022.9.12.



青田から稔りの秋へ　西神戸の田園地帯　伊川谷小寺の里　　2022.9.12.

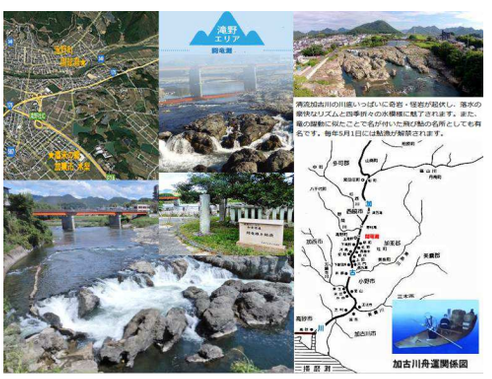
東播磨初秋の風物詩　酒米の郷 田の畔を飾る酒蔵の旗　2022.9.12.

毎年 私の夏送り 東播磨 稔りの秋の田園地帯を原チャリで駆ける



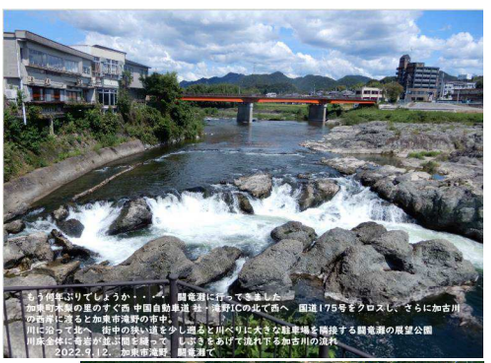


















東播磨　初秋の風物詩　田園地帯の里景色　　本当にうれしい風来坊　初秋東神戸を爽快に駆け抜けた原チャリWalkになりました。


滝野町
闘龍灘★
佐保神社★
★加東市
木梨
酒米「山田錦」の郷
加東市(木梨) &三木市 (吉川・細川)
★鶉野飛行場
滑走路跡地
小野町★
来住野のそば畑
上荘橋★
★三木市
細川町
★志染
★西盛
★神出
★櫨谷
★白川峠
若草の丘
東播磨の初秋の風物詩 稔りの田の畔を飾る酒蔵の旗
酒米「山田錦」の郷
三木市 (吉川・細川) &加東市(木梨) へ
Image Landsat / Copernicus
Google Earth


駆け巡った東播磨路線図 主に国道・県道図
滝野町
闘龍灘★
佐保神社★
★加東市
木梨
酒米「山田錦」の郷
加東市(木梨)
&三木市 (吉川・細川)
★鶉野飛行場
滑走路跡地
小野町★
来住野のそば畑
上荘橋★
★三木市
細川町
★志染
★西盛
★神出
★櫨谷
★白川峠
若草の丘
西神戸から東播磨北部に広がる丘陵地
里山の間を縫って 点々と里が続く田園地帯
狭い谷間の田園は兵庫県特産の酒米「山田錦」の郷
初秋 田園には誇らしく日本各地の酒蔵の旗が立ち並ぶ
東播磨初秋の風物詩を巡って東播磨の里を駆ける
Image Landsat / Copernicus
Google Earth

東播磨初秋の風物詩　酒米の郷 田の畔を飾る酒蔵の旗　　**2022.9.12.**

毎年私の夏送り 東播磨稔りの秋の田園地帯を原チャリで駆ける

世界大戦の歴史をそっくり残す加西市の鶉野飛行場滑走路跡地を初めて見学しました





東播磨の里　秋の風物詩　稔りの田の畔に翻る酒蔵の旗

東播磨　三木市&加東市　酒米「山田錦」の郷の秋迎え



2022.9.12.　三木市細川町垂穂の里で

灘の酒蔵の旗が畔をかざる初秋の風物詩

伊川谷からまっすぐ北へ丘陵地の丘の間をぬけ、小さな丘がいくつも広がる田園都市「三木市」
東播磨 加古川の両岸に広がる田園地帯は　兵庫県特産の酒米山田錦の主要栽培地。
日本各地の酒蔵が競って契約する山田錦の栽培地が広がり、
毎年稔りの秋を迎えると神戸灘の酒蔵を始め、
日本各地の酒蔵の旗が畔を翻る山田錦の里が点々とつながる
今年の新酒の出来を占う酒米の出来。
順調な生育　頭を垂れる稲穂に期待が広がる山田錦の里の里巡り



2022.9.12.　三木市細川町垂穂の里で







2022.9.12.　三木市細川町垂穂の里で







2022.9.12.　三木市細川町で

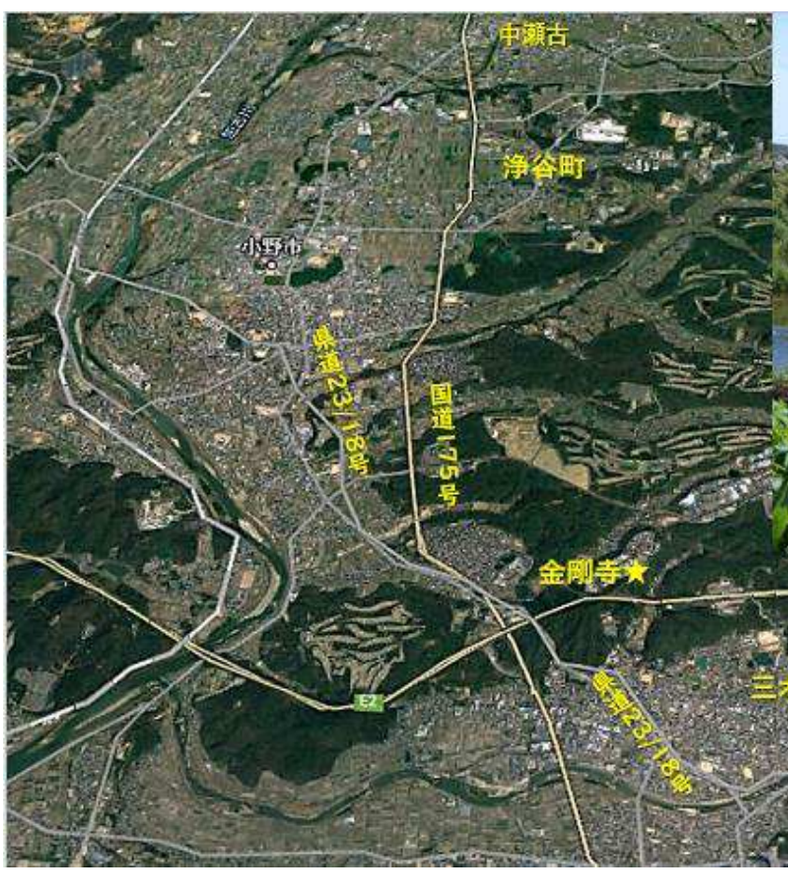
加古川東岸を北へ　東播磨 酒米の郷　滝野・社IC 加東市木梨の里へ

灘の酒蔵「剣菱」と木梨の里が守り抜いた幻の酒米「愛山」の主栽培地
美嚢川沿いを西へ抜ければ小野市に出られ、北の加東市へ向かうことができると思っていましたが、思いのほか南の神戸電鉄樫山駅周辺。位置確認すると思いのほか南　志染川と美嚢川の合流点 三木市若宮周辺に。
直ぐ西に国道175号線　いつも自宅からダイレクトに小野や加西へ出かける道に合流
稔りの秋を迎える酒米山田錦の郷の田園地帯　三木市の酒米の郷を駆け抜けられて心地よし。
次の目的は北の小野市を抜けて、加東市の酒米の郷　木梨の里へ
特に加東市木梨の里は灘の剣菱が山田錦とともに幻の酒米といわれる「愛山」の主栽培地。
思い入れ一杯で巡る酒米の郷　コロナで３年ぶりの訪問だ。
ちょっと彼岸花が畔を飾るにまだ早いが、空は快晴　秋の空
どんな初秋の田園風景がみられるか・・・・・





2022.9.12.　三木市若宮周辺に
細川町から美嚢川沿いを南西へ抜けて 広い田園地が広がる志染川との合流点　三木市若宮周辺へ出た。美嚢川はさらに西の加古川へ注ぐ
小野市から加東市へ向かう予定で
スマホで位置を確認すると思いのほか南に出ている





美嚢川が右手南から志染川を合流して
左手　西の加古川へ合流する　三木市若宮



里山の間に広がる三木市の酒米の郷を出て、次は毎年訪れる北の酒米の郷 加東市木梨の里へ
西の平野部を北に走る国道１７５号を避けたくて、スマホの地図で確認した旧道県道23/１８号を通って加東市へ向かう。美しい五重塔のある金剛寺がすぐ近くにあるとスマホ地図に出たので立ち寄ってみる。
国道１７５号と共に何度も通ったことがある旧道。１７５号が田園の中を突き切るのに対し、里と里を繋いで北に延びる生活道路である。小野市の市街地を抜け、中瀬古の交差点で国道175号と交差して、県道５６７号に入ると加東市。田園の中を国道１７５号と並行しつつ、北へ走れば、加東市の社そして木梨の里である。











4月第2日曜日 春祭り（鬼追い式）が行われているようだ
東播磨にも西神戸と同じような鬼踊りがあるようだ

小野市/加東市の境 国道175号/県道576号の交差点 中瀬古
交差点をそのまま北へ 酒米の郷 加東市木梨へ向かう





小野市/加東市の境　国道１７５号/県道５７６号　中瀬古の交差点を突き切り、加東市へ
中瀬古の里を抜け、田園地帯に入ると　遠く東西に延びる中国道沿いの山並がみえはじめ、加東市の中心 社・木梨の里へ





加東市社地区の中心 佐保神社のある嬉野台へ登る坂道になり、丘の上　佐保神社の前へ出る
今夏甲子園へ出場した社高校　社の地名の元　佐保神社の門前町として栄えた社地区
東西に延びる子の嬉野台　この丘の東部には神戸教育大ほかの新しい街ができている



国道１７５号が走る左手側　加古川の東岸に広々と広がる田園、背後に滝野・加西の山並
山並みの途切れたところが、加古川の流れ出しロ　滝野の闘竜灘　西脇から奥へ　国道１７５号が中国山地へ分け入る。





田園の中 点々と家並みが続く県道５７６号線　　国道１７５号と違って大型車両が通らないので、
周囲を眺めながら　ゆっくり走れて　心地よい。道の正面に加東市社地区の中心嬉野台の丘が見え始める。







社・佐保神社前　この嬉野台の丘を北に下れば
この嬉野台の丘と　中国自動車道が走る山並に挟まれて、酒米の郷　加東市木梨の里が広がっている

■ 木梨の里の手前で 久し振りに 佐保神社に寄り道

御祭神は中央の御殿に天児屋根命、東側の御殿に天照大神、西側の御殿に大己貴命（大国主命）の三神で、別名三社大明神と呼ばれていた。また佐保大明神とも称されるようになりました。
旧称坂合神社　北播磨有数の神社として知られ、旧社町は門前町として発展した。
この夏甲子園に兵庫県代表で出場した「社高校」はこの街の高校です



2022.9.12.　加東市社　佐保神社　瑞神門



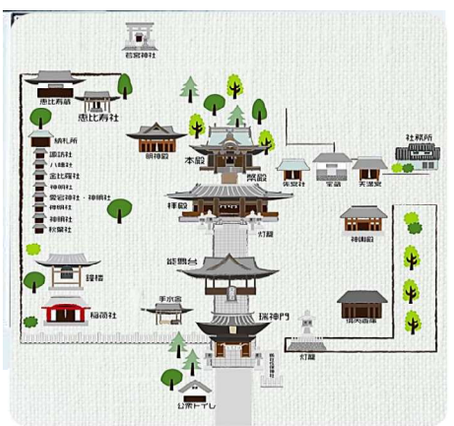
御祭神は中央の御殿に天児屋根命、東側の御殿に天照大神、西側の御殿に大己貴命（大国主命）の三神で、別名三社大明神と呼ばれていた。
また佐保大明神とも称されるようになりました。
旧称坂合神社　北播磨有数の神社として知られ、旧社町は門前町として発展した。
社伝によれば、当社は垂仁天皇二十三年の創建で、元は鎌倉峰（現在地の北西約10km）に鎮座していたといい、養老六年（722年）三月に阿倍野三郎太夫なる人物が神託を受けて当地へ遷座したと伝えられています。











加東市社 佐保神社 旧町名「社町」は佐保神社門前町として発展した

佐保神社由緒

当神社の始まりは、第十一代垂仁天皇二十三年の創建と伝えられていますが、この当時は加西の鎌倉峰に鎮座されていました。

その後、養老六年（七二二年）に現在地に遷座され、延喜式にも所載の古社であります。

当地に遷座された頃は「坂合神社」と呼ばれておりましたが、いつの頃からか「佐保神社」と称されるようになりました。

鎌倉時代には、朝廷や幕府の崇敬を集め隆昌を誇り、尼将軍として有名な北条政子は、八丁四方に内の鳥居、一里四方に外の鳥居を造営させました。

今でも、その中の一基（西の内の鳥居）は加東市鳥居地区に、地名と共に残っております。

室町期に入り、度々の騒乱により一時荒廃いたしましたが、江戸時代に至って姫路城主池田輝政公の祈願所として社領十石を寄せられ、さらに幕府より御朱印社領十石を賜わるなど、ようやく復興いたしました。

また明治時代になり、官国弊社に次ぐ近郷唯一の県社の社格を付与されました。

なお、旧加東郡社町の名は往古より「佐保社村」と呼ばれ、当神社の門前町として発展してきたことに由来し、北播磨の雄として栄えてまいりました。

現在の本殿は、延享四年（一七四七年）に再建されたもので、三間社流造正面千鳥破風・銅板葺で、幣殿・拝殿・瑞神門とともに、華麗な彫刻で飾られています。

御祭神は　東殿（向って右）天照大神
中殿（中央）天児屋根命
西殿（向って左）大己貴命　の三神であります。

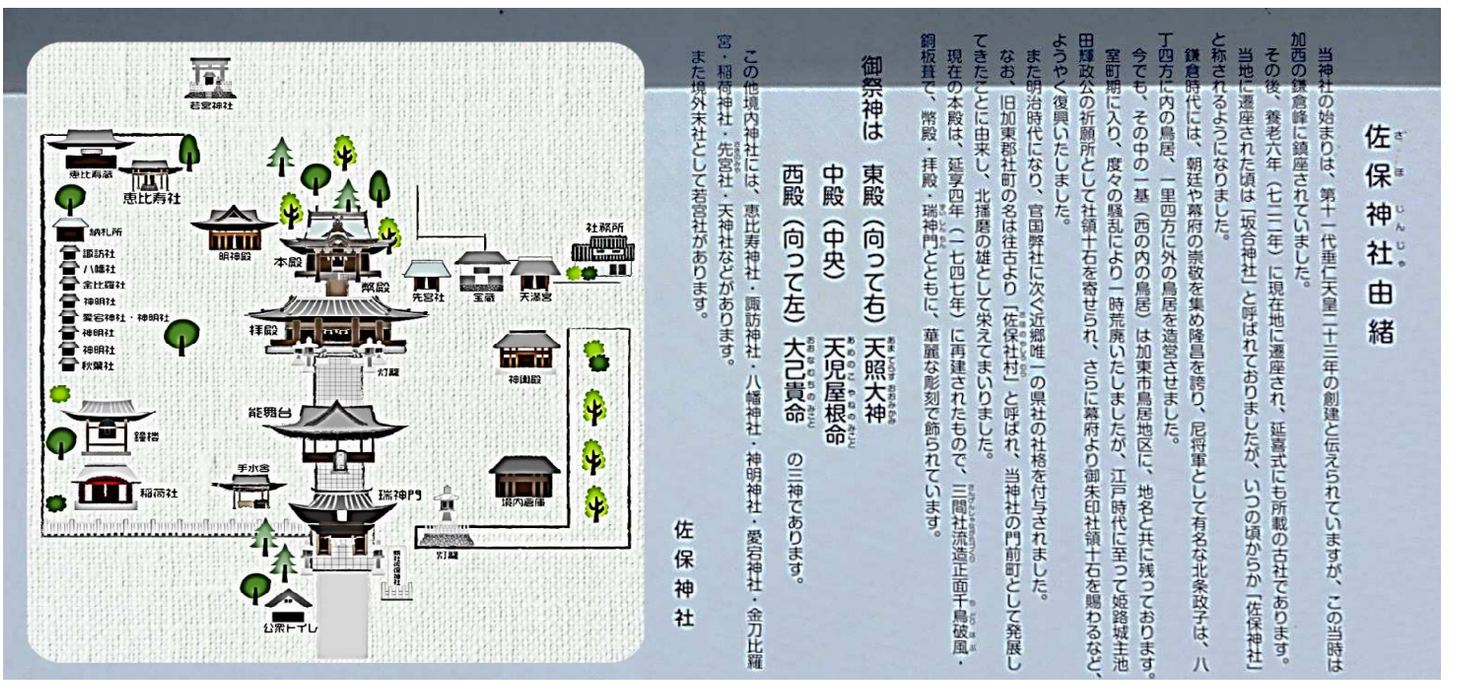
この他境内神社には、恵比寿神社・諏訪神社・八幡神社・神明神社・愛宕神社・金刀比羅宮・稲荷神社・先宮社・天神社などがあります。

また境外末社として若宮社があります。

佐保神社







佐保神社由緒

当神社の始まりは、第十一代垂仁天皇二十三年の創建と伝えられていますが、この当時は加西の鎌倉峰に鎮座されていました。

その後、養老六年（七二二年）に現在地に遷座され、延喜式にも所載の古社であります。

当地に遷座された頃は「坂合神社」と呼ばれておりましたが、いつの頃からか「佐保神社」と称されるようになりました。

鎌倉時代には、朝廷や幕府の崇敬を集め隆昌を誇り、尼将軍として有名な北条政子は、八丁四方に内の鳥居、一里四方に外の鳥居を造営させました。

今でも、その中の一基（西の内の鳥居）は加東市鳥居地区に、地名と共に残っております。

室町期に入り、度々の騒乱により一時荒廃いたしましたが、江戸時代に至って姫路城主池田輝政公の祈願所として社領十石を寄せられ、さらに幕府より御朱印社領十石を賜わるなど、ようやく復興いたしました。

また明治時代になり、官国幣社に次ぐ近郷唯一の県社の社格を付与されました。

なお、旧加東郡社町の名は往古より「佐保社村」と呼ばれ、当神社の門前町として発展してきたことに由来し、北播磨の雄として栄えてまいりました。

現在の本殿は、延享四年（一七四七年）に再建されたもので、三間社流造正面千鳥破風・銅板葺で、幣殿・拝殿・瑞神門とともに、華麗な彫刻で飾られています。

御祭神は　東殿（向って右）天照大神
中殿（中央）天児屋根命
西殿（向って左）大己貴命　の三神であります。

この他境内神社には、恵比寿神社・諏訪神社・八幡神社・神明神社・愛宕神社・金刀比羅宮・稲荷神社・先宮社・天神社などがあります。

また境外末社として若宮社があります。

佐保神社



加東市社 佐保神社　境内　2022.9.12.











加東市社 佐保神社　境内西端より、北の木梨の郷へ延びる県道を眺める
2022.9.12.



佐保神社から県道へ戻って　嬉野台地を北に越えると加東市木梨の郷
灘の酒蔵「剣菱」が里人と一緒にずっと継続栽培してきた
幻の酒米「愛山」を栽培する酒米の郷で　毎年訪れるのが楽しみな里





千鳥側に北から木梨川が流れ込む合流点



木梨の里を流れる千鳥川の堤に出て、西へ里の中をぬけて
北の中国自動車道沿いまで広がる木梨の田園地帯へ　3年ぶりの木梨の里に入る　2022.9.122.







佐保神社から北へ坂を下り、東から流れ込む千鳥川の堤に出れば、木梨の里
今年はどんな木梨の郷の田園風景がみられるか　楽しみで北へ　2022.9.122.



県道１７号 木梨北　三草川にかかる木梨橋





千鳥川と三草川の合流点から北へ



三草川にかかる木梨橋に出る



加東市木梨の田園を訪れる時の定点　中国自動車道沿い安住寺の下周辺



3年ぶりにみる木梨の里の初秋の風物詩
田園の畔のあちこちに酒蔵の旗が翻る加東市木梨の里景色



木梨 安住寺境内の坂道から高速道路を渡る橋に登って木梨の里の田園地帯を眺める
嬉野台・木梨の里を背に　稔りの秋を約束する　頭を垂れ始めた稲穂　　2022.9.12.



木梨 安住寺



木梨 安住寺沿い　中国自動車道脇で





灘の酒蔵「剣菱」の酒米「愛山」
酒米のダイヤモンド」というらしい
私の知るのは剣菱の酒「瑞穂」に
使われていると聞く
まもなく 芳醇な新酒が出回るのが楽しみ



灘の酒蔵「剣菱」が里の人と一緒に守った
酒米「愛山」の栽培地
剣菱の旗がはためく加東市木梨の里
木梨 安住寺下で 2022.9.12.





灘の酒蔵 剣菱が里の人と一緒に守った酒米「愛山」の栽培地

剣菱の旗がはためく加東市木梨の里 木梨 安住寺下で 2022.9.12.

今年は来たのが少し早くて　畔をかざるヒガンバナには出会えなかった

(参考) 東播磨の田園に初秋を訪ねる 2015　東播磨 酒米の郷に秋を告読讒風物詩
灘の酒蔵 剣菱が守り抜いた酒米「愛山」の話を収録しています
https://www.infokkkna.com/ironroad/2015htm/walk12/1510kakogawa00.htm
加古川中流 滝野 闘竜灘 & 彼岸花の里 多可 ・酒米「山田錦」の里 加東・三木木吉川

東播磨初秋の風物詩　酒蔵の旗が田の畔を飾る酒米の郷の里景色

３年ぶりの心地よい東播磨 原チャリwalkになりました。

木梨から さらに加古川の奥の多可町でも酒蔵の旗が田の畔を飾る美しい里景色が見られるのですが、
今回は加古川の西岸へ渡って加東市滝野の闘竜灘の景観を眺めて、
加西市の田園地帯を南に下って　真っ白な蕎麦の花が野を埋める小野市来住野を眺めて帰ることに。
途中ハプニング　加西の田園に戦争遺産 鶉野飛行場跡地の案内板を見つけて見学も。
なんせ まだまだ日は長いので、ブラブラの風来坊を楽しみながら神戸へ帰ることに







東播磨初秋の風物詩　酒米の郷 田の畔を飾る酒蔵の旗　2022.9.12.

酒米の郷木梨の里から、加古川闘龍灘→加西鶉野飛行場跡→小野きすみ野のそば畑へ

滝野町
加古川闘龍灘★

酒米「山田錦」の郷
加東市(木梨)＆三木市（吉川・細川町）

★加東市
木梨 & 社 佐保神社

鶉野飛行場
滑走路跡地★

★加西
フラワー
セカター

網引湿原★

小野町★
来住野のそば畑

加古川市
志方★

上荘橋★

口吉川

★三木市
細川町

豊池

★淡河

★志染

★箕谷

★神出

西神中央★

伊川谷★

★若草の丘

神戸市

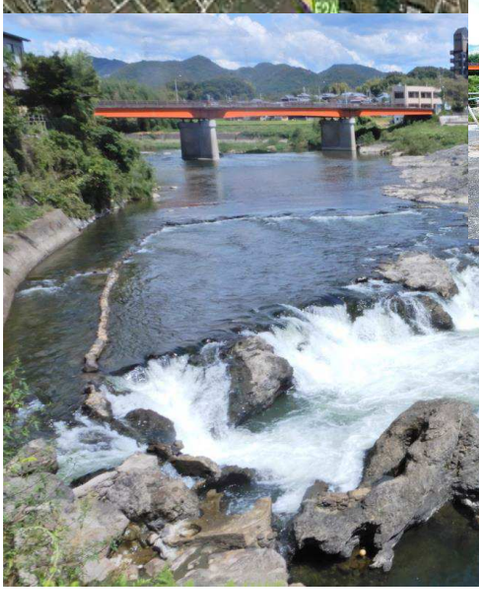








清流加古川の川底いっぱいに奇岩・怪岩が起伏し、落水の豪快なリズムと四季折々の水模様に魅了されます。また、竜の躍動に似たことで名が付いた飛び鮎の名所としても有名です。毎年5月1日には鮎漁が解禁されます。







加古川舟運関係図





夏の暑さをふっとばし　元気をもらった飛び鮎の清流
しぶきをあげて流れ下る加古川の流れ　闘竜灘
その水音が心地よし

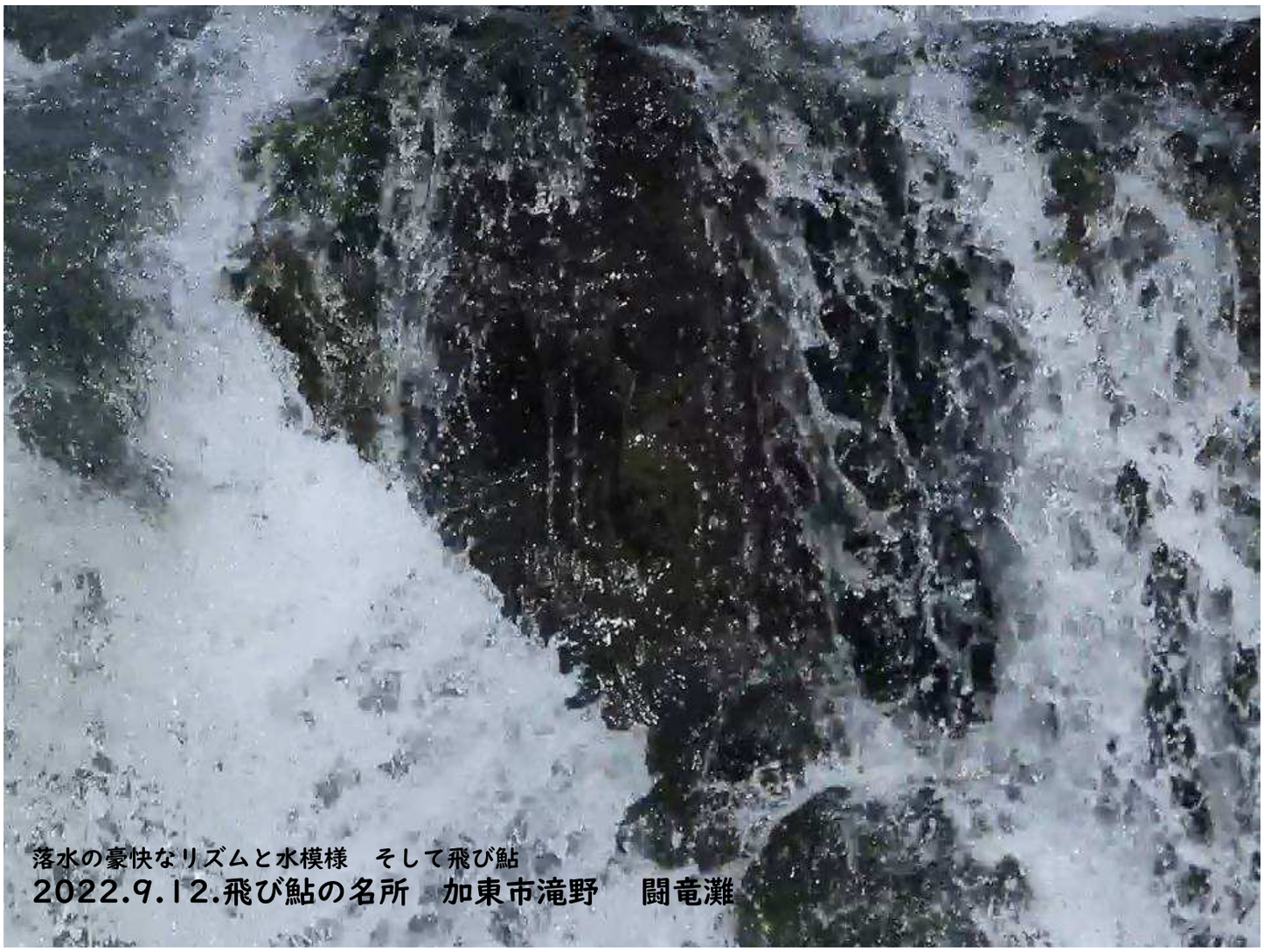
もう何年ぶりでしょうか・・・　闘竜灘に行ってきました
加東町木梨の里のすぐ西 中国自動車道 社・滝野ICの北で西へ　国道175号をクロスし、さらに加古川の西岸に渡ると加東市滝野の市中。
川に沿って北へ　街中の狭い道を少し遡ると川べりに大きな駐車場を隣接する闘竜灘の展望公園
川床全体に奇岩が並ぶ間を縫って　しぶきをあげて流れ下る加古川の流れ
　　2022.9.12.　加東市滝野　闘竜灘で



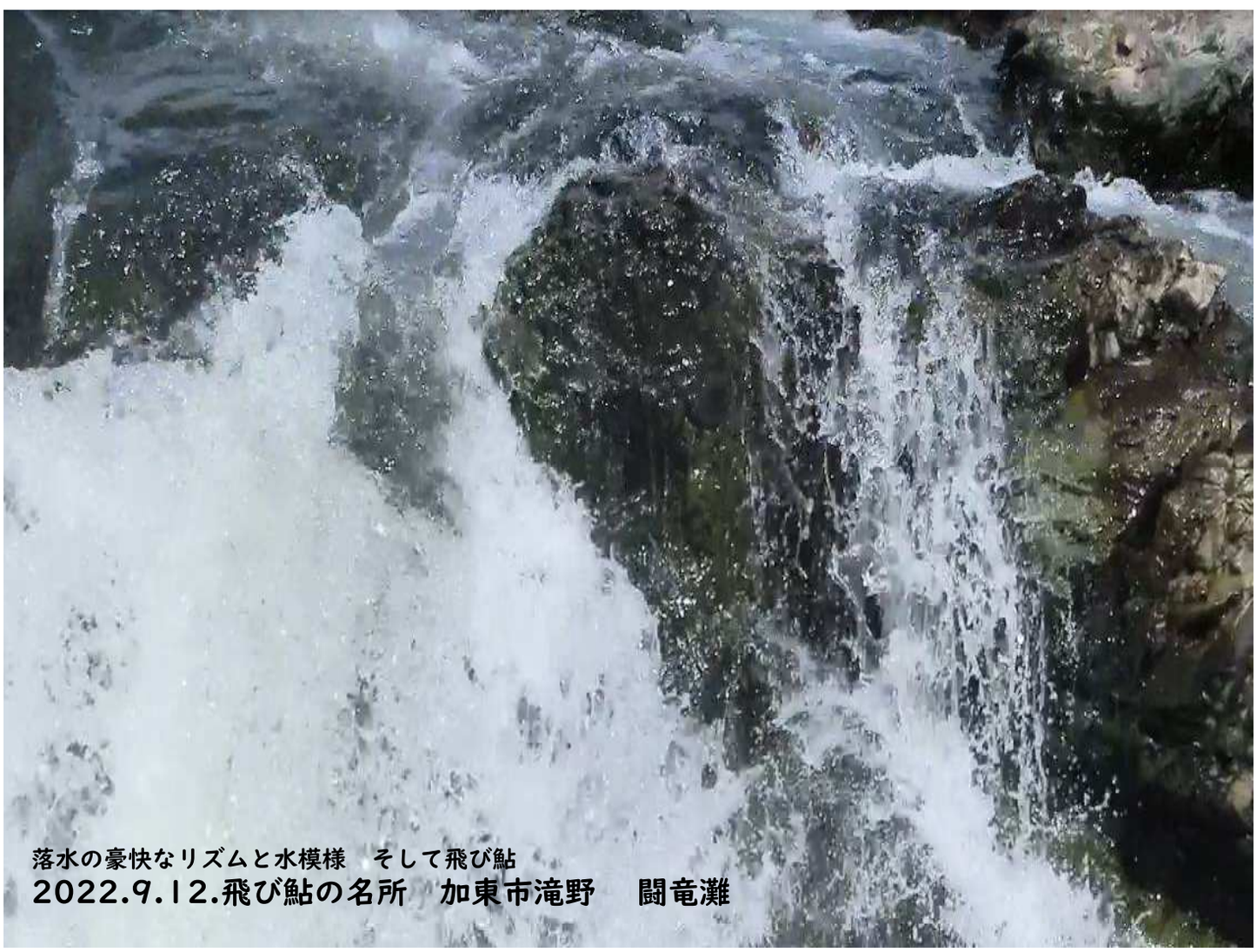
2022.9.12.加東市滝野　闘竜灘の下流側
下流側も　川床は川幅一杯に広がった奇岩
狭い 水路が開かれていていて、勢いよく水が流れ下っててゆく
舟は上流と下流でそれぞれ一旦荷を下ろし、陸運後再び舟に*積み替え*て運搬。
滝野はその中継地として加古川水運で栄えたという。
ちなみに　この加古川水系から日本海側への分水嶺は日本一低い分水嶺(氷上町石生　水別れ公園)


闘竜灘の名の由来
一道の飛瀧地を劈きて開き　怒声豪勢風雷と闘ふ
秋は千巌に入りて霜葉麗し　玉龍躍り出でて錦雲堆む
岩をかんで激しく流れる滝は、まるで竜が闘うようである
――――― 梁川星巌（江戸時代末期の詩人）・
「飛び鮎」
この滝になって流れ下る清流をアユが飛び跳ねて上流へ登ってゆくという
川床に降りて　目を凝らすのですが、見つけられずでした。
デジカメの動画に映っているかも・・・・・・・
2022.9.12.　加東市滝野　闘竜灘で


清流加古川の川底いっぱいに奇岩・怪岩が起伏し、
落水の豪快なリズムと水模様　そして飛び鮎
2022.9.12.飛び鮎の名所　加東市滝野　闘竜灘



落水の豪快なリズムと水模様　そして飛び鮎
2022.9.12.飛び鮎の名所　加東市滝野　闘竜灘



落水の豪快なリズムと水模様　そして飛び鮎
2022.9.12.飛び鮎の名所　加東市滝野　闘竜灘



落水の豪快なリズムと水模様　そして飛び鮎
2022.9.12.飛び鮎の名所　加東市滝野　闘竜灘



落水の豪快なリズムと水模様　そして飛び鮎
2022.9.12.飛び鮎の名所　加東市滝野　闘竜灘


2022.9.12.飛び鮎の名所　加東市滝野　闘竜灘


2022.9.12.飛び鮎の名所　加東市滝野　闘竜灘

加西市鶉野飛行場滑走路と戦争遺産の見学へ

ふと思い立って、今加古川の西岸へ渡って加東市滝野の闘竜灘の景観を眺めて、加西市の田園地帯を原チャリで南に駆ける途中で見つけた加西の戦争遺産 鶉野飛行場跡地の案内板 風来坊の楽しみがまた一つ



鶉野飛行場滑走路跡地 ＆ 鶉野飛行場戦争遺産(インターネット参考資料より)

闘龍灘から加西を通って、加古川西岸の小野市来住野への途中 見つけた鶉野飛行場滑走路跡地 ＆ 鶉野飛行場戦争遺跡









Sora かさい
KASAI UZURANO
scenery opportunity region activity

加西市地域活性化拠点施設 「Solaかさい」

https://www.sorakasai.jp/index.html

鶉野飛行場滑走路跡地 ＆ 鶉戦争遺跡展示資料館としてミュージアムが整備されていましたが、休館日で見学できず、残念でした滑走路跡地や周辺に点在する鶉野飛行場の戦争遺跡がこんなによく整備して残されていることにビックリしました。

資料　加西・鶉野飛行場跡
(加西教育委員会編　51P)
https://www.city.kasai.hyogo.jp/uploaded/attachment/2140.pdf
加西市鶉野飛行場跡 home Page
https://www.city.kasai.hyogo.jp/soshiki/4/1780.html

闘龍灘から加西を通って、加古川西岸の小野市来住野への途中で見つけた鶉野飛行場滑走路跡。
地名前は知っていましたが、鶉野飛行場戦争遺産までそっくりそのまま残っているとはよく知らず。
見学する良い機会となりました。









県道23号フラワーセンター前　鶉野飛行場跡への分岐
いつもは左:県道23号を小野方面へ向かうのですが、
今日は右の鶉野飛行場跡の標識のある鶉野の里を抜けて、小野へ



県道716号加西市豊倉町の交差点から、よく知る県道23号
フラワーセンターの前から、加西の田園地帯を抜けて、東の加古川西岸小野市へ戻ってゆく





鶉野飛行場 戦争遺産「無蓋掩体壕」と SNJ-5練習機展示
2022.9.12.　加西市鶉野　奉天池の縁で

加西フラワーセンター前で　県道２３号を離れ、田園地帯をまっすぐ鶉野へ。
奉天池のすぐ横で　飛行機が展示されている戦争遺跡「無蓋掩体壕」前に
この場所の意味がよく分かりませんでしたが、展示案内で飛来する米軍機から、特攻機を樹木などで覆って 隠した場所(無蓋掩体壕)の一つとわかりました。
ここが滑走路跡のすぐそばと思いましたが、もう少し東へ走ったところでした。

鶉野（うづらの）飛行場跡戦争遺産巡り

本土決戦に備えた 掩体壕（えんたいごう）

昭和２０年に入り鶉野飛行場周辺に飛行機を温存するための 掩体壕が作られました。
７月には、筑波海軍航空隊より『紫電』が３０機、第３岡崎海軍航空隊より９３式中間練習機も配備され米軍機による攻撃に対処するため誘導路（15.000m）に隣接した５５箇所の掩体壕に隠蔽する状況を絵画にしました。
これらの飛行機は、迫り来る米軍を迎え撃つため姫路基地が、本土決戦の基地となりこのように温存されました。
（海軍の兵士や、国民学校の生徒達が木の枝を運び隠すことにより、米戦闘機からの攻撃を防ぐことが出来ました）

終戦時鶉野に残った飛行機
紫電57機・紫電改13機、零戦、白菊等を併せ80機が無傷で残った。

この絵は加東市の服部 武司 様が描かれました。
一般社団法人鶉野平和祈念の碑苑保存会

掩体壕とは、飛行場に駐機する軍用機を上空の敵機から守るために作られた格納庫
太平洋戦争末期、米軍による本土空襲が激しくなる状況で、全国の軍用飛行場に構築されました。 掩体壕には、コンクリート製の屋根で作られた有蓋型（ゆうがいがた）と、屋根がなく土を土塁状に固めた無蓋型（むがいがた）があります。



鶉野飛行場戦争遺産「無蓋掩体壕」とSNJ-5練習機展示　　2022.9.12.
加西市鶉野　奉天池の縁で







本土決戦に備えた 掩体壕（えんたいごう）

昭和２０年に入り鶉野飛行場周辺に飛行機を温存するための 掩体壕が作られました。
７月には、筑波海軍航空隊より『紫電』が３０機、第３岡崎海軍航空隊より９３式中間練習機も配備され米軍機による攻撃に対処するため誘導路（15.000m）に隣接した５５箇所の掩体壕に隠蔽する状況を絵画にしました。
これらの飛行機は、迫り来る米軍を迎え撃つため姫路基地が、本土決戦の基地となりこのように温存されました。
（海軍の兵士や、国民学校の生徒達が木の枝を運び隠すことにより、米戦闘機からの攻撃を防ぐことが出来ました）

終戦時鶉野に残った飛行機
紫電57機・紫電改13機、零戦、白菊等を併せ80機が無傷で残った。

この絵は加東市の服部 武司 様が描かれました。
一般社団法人鶉野平和祈念の碑苑保存会

掩体壕とは、飛行場に駐機する軍用機を上空の敵機から守るために作られた格納庫
太平洋戦争末期、米軍による本土空襲が激しくなる状況で、全国の軍用飛行場に構築されました。 掩体壕には、コンクリート製の屋根で作られた有蓋型（ゆうがいがた）と、屋根がなく土を土塁状に固めた無蓋型（むがいがた）があります。



鶉野飛行場滑走路跡地 ＆ 鶉野飛行場戦争遺産(インターネット参考資料より)

闘龍灘から加西を通って、加古川西岸の小野市来住野への途中
見つけた鶉野飛行場滑走路跡地 ＆ 鶉野飛行場戦争遺産

北東に延びる滑走路跡　滑走路跡北端部に鶉野飛行場滑走路跡ミュージアム

南西に延びる滑走路跡　背後に見える山並みは小野アルプスの山並?



加西市地域活性化拠点施設
「Solaかさい」
https://www.sorakasai.jp/index.html
鶉野飛行場滑走路跡地 ＆ 鶉戦争遺産展示資料館としてミュージアムが整備されていましたが、休館日で見学できず、残念でした滑走路跡地や周辺に点在する鶉野飛行場の戦争遺跡がこんなによく整備して残されていることにビックリしました。

資料　加西・鶉野飛行場跡
(加西教育委員会編　51P)
https://www.city.kasai.hyogo.jp/uploaded/attachment/2140.pdf
加西市鶉野飛行場跡 home Page
https://www.city.kasai.hyogo.jp/soshiki/4/1780.html

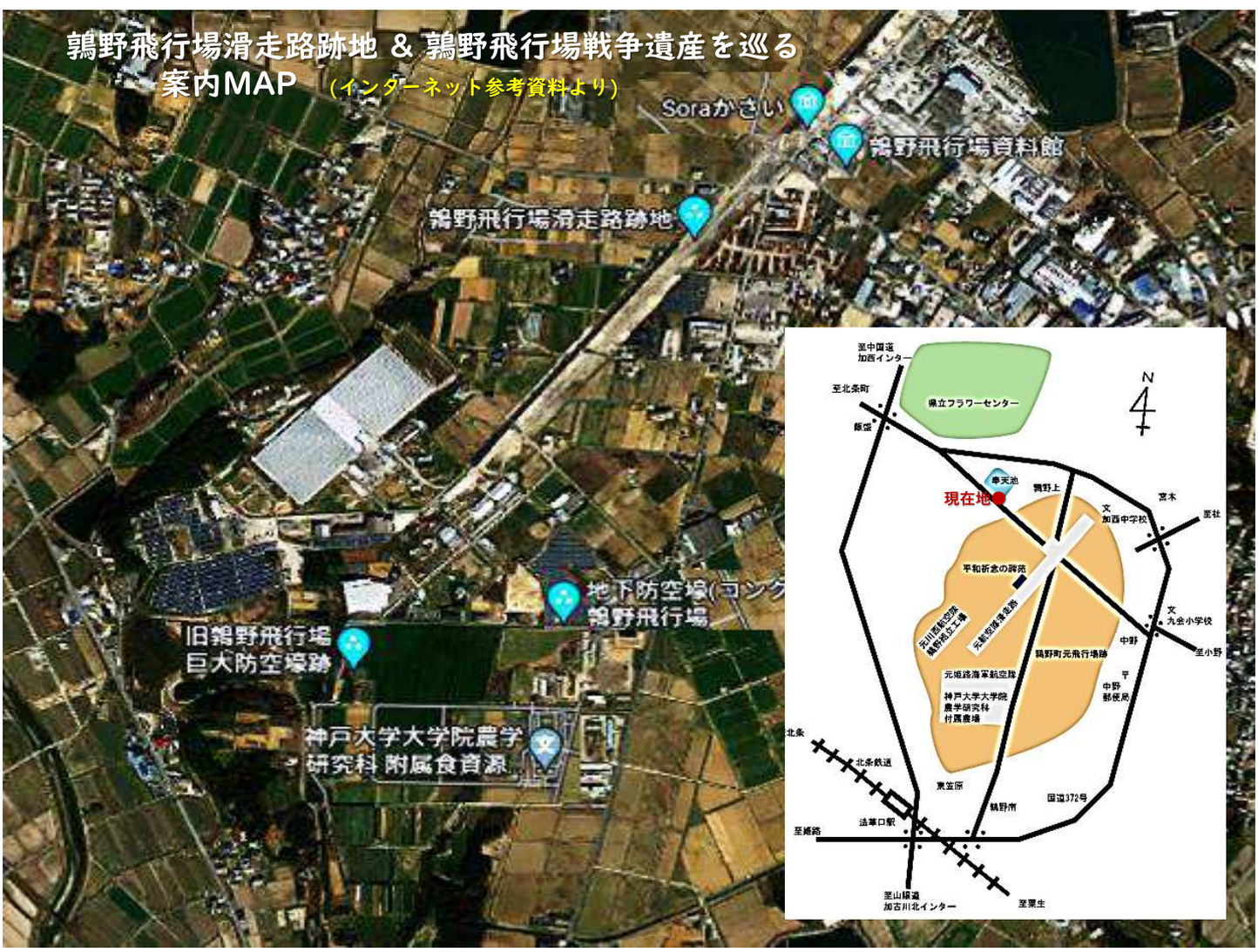
闘龍灘から加西を通って、加古川西岸の小野市来住野への途中で見つけた鶉野飛行場滑走路跡。
地名前は知っていましたが、鶉野飛行場戦争遺産がそっくりそのまま残っているとはよく知らず。
見学する良い機会となりました。







鶉野飛行場滑走路跡地 ＆ 鶉野飛行場戦争遺産を巡る案内MAP (インターネット参考資料より)



北東から南西へ田園地の中に延びる鶉野飛行場滑走路跡地　2022.9.12.





奉天池の東を少しゆくと　交差点を横切って南北にまっすぐ伸びる滑走路跡が見え、鶉野飛行場跡と知れた。
交差点周辺は今整備中。左手側に新しく整備された道路チャコールの三角屋根の建物がみえ、それが案内標識にある鶉野飛行場跡資料館。正式には加西市が進めている鶉野飛行場跡地とその戦争遺産保存整備の拠点「Soraかさい(加西市地域活性化拠点施設)」鶉野飛行場滑走路跡ミュージアムでした。残念ながら休館日でミュージアムの中にある展示はみれずでした。
鶉野飛行場滑走路跡地と戦争遺産の保存整備がこんなに進んでいるとは全く知らず。
スマホと広場にある案内で概要を調べ、滑走路跡地とかつての鶉野飛行場の諸施設(戦争遺産)を巡りました。
鶉野飛行場の戦争遺跡はきっちり順路案内が順路に整備されています。。





滑走路中央部より　北東に延びる滑走路跡　滑走路跡北端部に鶉野飛行場滑走路跡ミュージアムが見える





滑走路中央部より　南西に延びる滑走路跡　背後に見える山並みは小野アルプスの山並?



「Soraかさい(加西市地域活性化拠点施設)」前より、南側へ鶉野飛行場滑走路跡



「Soraかさい(加西市地域活性化拠点施設)」



鶉野飛行場滑走路跡と
点在する戦争遺産















今日は休館日　どの施設も開いてないので、状況よくわかりませんが、ミュージアムの展示や鶉野飛行場跡・戦争遺産巡りガイドマップ他資料や案内もよく整備されているようです









https://www.city.kasai.hyogo.jp/uploaded/attachment/16496.pdf

鶉野飛行場滑走路跡地 & 鶉野飛行場戦争遺産 案内MAP (インターネット参考資料より)



鶉野(うづらの)飛行場跡戦争遺産巡り



❶加西市地域活性化拠点施設「soraかさい」



鶉野飛行場に関連する展示(歴史や飛行機の実物大模型など)、物販・飲食、観光案内、イベントなど多様な交流の機能を有しています。

❷鶉野平和祈念の碑苑



戦争のない平和が永遠に続くことを願い、平成11年に、先隊員やご遺族、地元有志などにより建立されました。

❸鶉野飛行場滑走路跡



当時のままの滑走路跡が残る、全国でも貴重な戦争遺跡です。歩きやすく、散策道も整備されています。周辺には防空壕なども点在しています。

❹巨大防空壕跡(自力発電所跡)



長さ14.5m、幅5m、高さ5mの空間を持つ基地内最大のコンクリート製防空壕です。防空壕内では当時の特攻隊員たちが出撃前に残した遺書を映像で公開しています。

❺対空機銃座跡



攻撃してくる飛行機を迎え撃つための機銃座で、1分間に230発の弾を5,000mまで発射できたそうです。地下室も含め、完全な状態で残っています。

❻門柱・衛兵詰所跡



鶉野飛行場基地への入り口がありました。門柱、衛兵詰所、訪問者との面会所をイメージした休憩所が整備され、工事の際に発見された門柱基礎が展示されています。

❼防空壕跡



鶉野飛行場跡周辺には、コンクリート製や素掘の防空壕が点在しています。

❽爆弾庫跡



砲弾、爆弾、航空機に装備した機銃弾が貯蔵されていたといわれています。コンクリートの壁は1mの厚みがあり、1t爆弾にも耐える構造となっています。

❾北条鉄道 法華口駅



(ほっけぐち)

地域唯一の駅員配置駅として栄えた駅です。現在は、懐かしい外観の駅舎内で、パンの販売やレンタサイクルの受付などを行う、地域活性化の主要なポイントです。国登録有形文化財。

かさい観光Navi

加西市歴史街道ボランティアガイド

加西市歴史遺産郵散策ナビ「REKINAVI」

鶉野飛行場跡戦争遺跡巡りガイドマップ他資料や案内もよく整備されているようですが、今回は休館日で得られずでした。
この「SORA加西」前から戦争遺跡を巡る案内標識がしっかりつけられていたので、それに従って、滑走路跡の北端から南端まで原チャリで巡って、そのまま小野へ戻りました。

鶉野（うづらの）飛行場跡戦争遺産巡り

❷鶉野平和祈念の碑苑

戦争のない平和が永遠に続くことを願い、平成11年に、元隊員やご遺族、地元有志などにより建立されました。



鶉野（うづらの）飛行場跡戦争遺産巡り

❸鶉野飛行場滑走路跡

当時のままの滑走路跡が残る、全国でも貴重な戦争遺跡です。歩きやすく、散策道も整備されています。周辺には防空壕なども点在しています。





滑走路中央部より　北東側から南西に延びる滑走路跡　　2022.9.12.
神戸への帰路の小野アルプスなどが背後に見えている

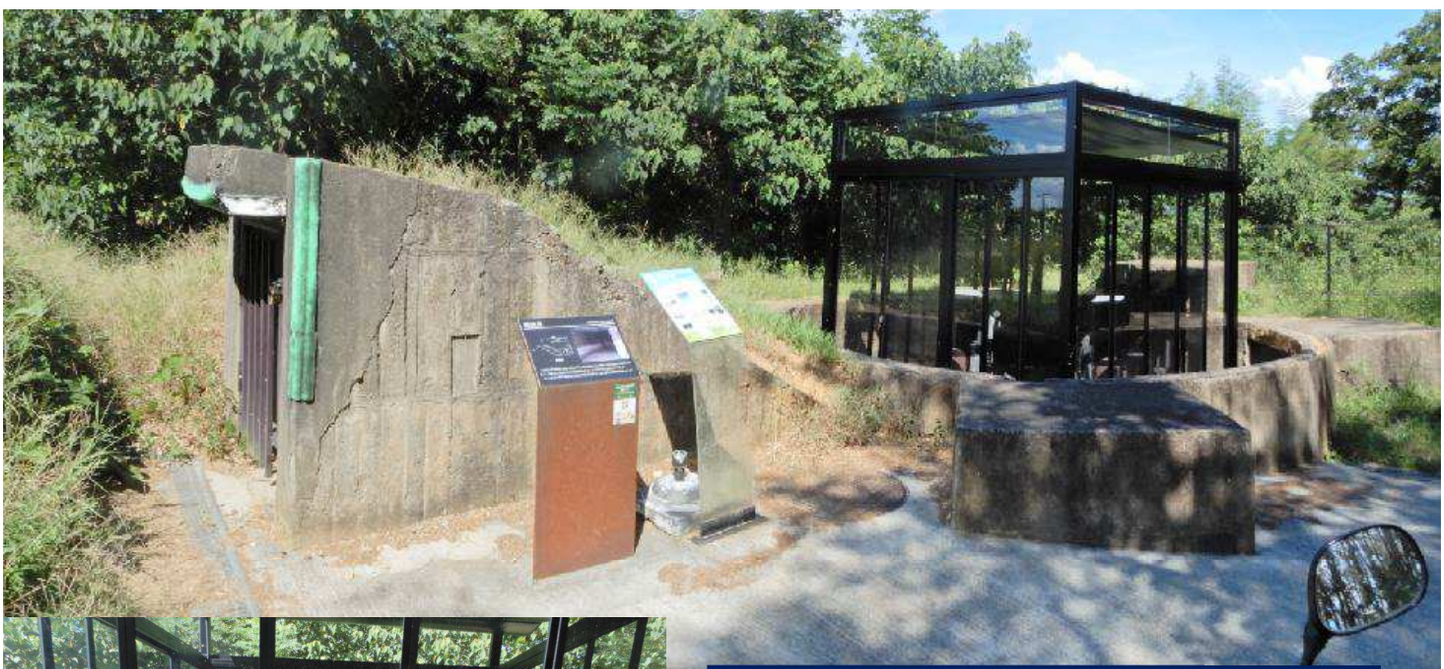
鵜野（うづらの）飛行場跡戦争遺産巡り



❹巨大防空壕跡（自力発電所跡）



長さ14.5m、幅5m、高さ5mの空間を持つ基地内最大のコンクリート製防空壕です。防空壕内では当時の特攻隊員たちが出撃前に残した遺書を映像で公開しています。



鵜野（うづらの）飛行場跡戦争遺産巡り

❺対空機銃座跡





攻撃してくる飛行機を迎え撃つための機銃座で、1分間に230発の弾を5,000mまで発射できたそうです。地下室も含め、完全な状態で残っています。







「姫路海軍航空隊」入口手前の坂道脇の防空壕

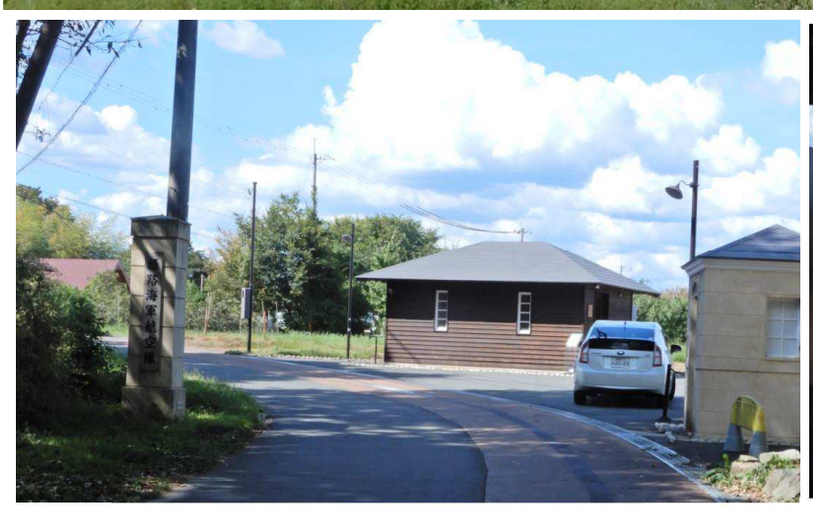


「姫路海軍航空隊」 門標手前の坂道にある防空壕



「姫路海軍航空隊」入口　門標と衛兵詰所







門標のある入口の後ろの林が滑走路の南端　この森を越えて飛行機が飛んで行ったのだろう
門標の内側のきれいな建物はトイレ　ここから北に広がる田園が見渡せ、すぐ横にも防空壕跡がありました。

鶉野（うづらの）飛行場跡戦争遺産巡り



鶉野（うづらの）飛行場跡戦争遺産巡り



鶉野飛行場跡への南側からの入口への坂道
奥に「姫路海軍航空隊」入口が見える
また　この坂道右の丘の中に防空壕や爆弾庫
跡が残されていました





鵜野（うづらの）飛行場跡戦争遺産巡り



鵜野（うづらの）飛行場跡戦争遺産巡り



「姫路海軍航空隊」入口　衛兵詰所の横から飛行場滑走路跡地南端部周辺の遠望
田園地帯に押し寄せる都市化の波の中　次々と田園地帯に残る過去の遺産が残される中
鵜野飛行場滑走路や諸施設の戦争遺産群がこんなによく整備されていて残されているとは
全く知りませんでした。忘れてはならぬ戦争遺跡・戦争遺産です。

鶉野飛行場滑走路跡地 & 鶉野飛行場戦争遺産(インターネット参考資料より)

闘龍灘から加西を通って、加古川西岸の小野市来住野への途中
見つけた鶉野飛行場滑走路跡地 & 鶉野飛行場戦争遺跡





加西市地域活性化拠点施設
「Solaかさい」
https://www.sorakasai.jp/index.html
鶉野飛行場滑走路跡地 & 鶉戦争遺跡展示資料館としてミュージアムが整備されていましたが、休館日で見学できず、残念でした滑走路跡地や周辺に点在する鶉野飛行場の戦争遺跡がこんなによく整備して残されていることにビックリしました。

資料　加西・鶉野飛行場跡
(加西教育委員会編　51P)
https://www.city.kasai.hyogo.jp/uploaded/attachment/2140.pdf
加西市鶉野飛行場跡 home Page
https://www.city.kasai.hyogo.jp/soshiki/4/1780.html

闘龍灘から加西を通って、加古川西岸の小野市来住野への途中で見つけた鶉野飛行場滑走路跡。
地名前は知っていましたが、鶉野飛行場戦争遺産までそっくりそのまま残っているとはよく知らず。
見学する良い機会となりました。
このままずっと維持してほしいと願う





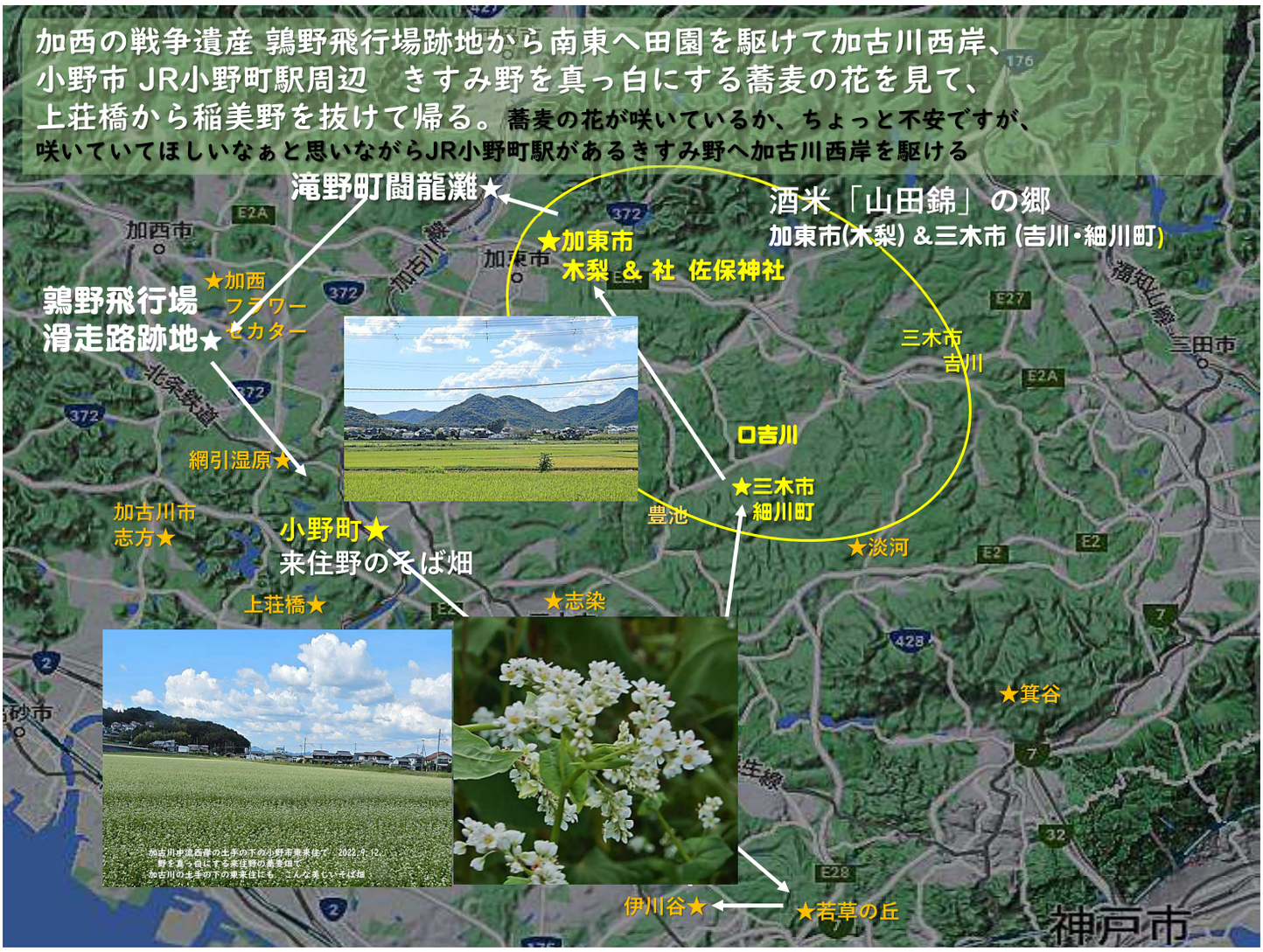


加西市鶉野飛行場滑走路と戦争遺産walk 2022.9.12.

加西市
加古川の西岸へ渡って加東市滝野の闘竜灘の景観を眺めて、加西市の田園地帯を原チャリで南に駆ける風来坊walk 」途中で見つけた案内板「加西の戦争遺産 鶉野飛行場跡東播磨の田園を駆ける楽しみがまた一つできました



加西の戦争遺産 鶉野飛行場跡地から南東へ田園を駆けて加古川西岸、
小野市 JR小野町駅周辺　きすみ野を真っ白にする蕎麦の花を見て、
上荘橋から稲美野を抜けて帰る。蕎麦の花が咲いているか、ちょっと不安ですが、
咲いていてほしいなぁと思いながらJR小野町駅があるきすみ野へ加古川西岸を駆ける





加西市鶉野から南へ加西の南の壁小野アルプスの山裾へ　田園地を駆け抜けて
北条鉄道が走る網引駅周辺に出て、山裾　北条鉄道沿いを東へ
加古川に注ぐ万願寺川沿いから加古川西岸土手を南に下って小野市に入る。
まもなく　稔りの秋を迎える広大な加西の田園地帯が美しい。2022.9.12.



加古川西岸　小野市きすみ野のそば畑　　2022.9.12.
小野アルプスを背に野を真っ白にする蕎麦の花



加古川中流西岸の土手の下の小野市来住で　2022.9.12.
少し花が咲くのには早いかと思いましたが
野を真っ白にするそばの花が迎えてくれました

加西市鶉野から南へ田園地を駆け抜けて 加古川に注ぐ万願寺川沿いから加古川西岸土手を南に下り、小野市に入る。 正面に見慣れた小野アルプスがみえ、土手を右に下って きすみ野へ
正確には加古川に沿ってJR加古川線 小野町周辺 來住(きし)の郷
周辺の田園は稲作・蕎麦の栽培が盛んな地である





小野市下来住野の里へ下りる標識からきすみ野へ入るとすぐに
田園地を真っ白に染めた蕎麦畑が飛び込んできました



加古川中流西岸の土手の下の小野市東来住で　2022.9.12.
　野を真っ白にする来住野の蕎麦畑で
加古川の土手の下の東来住にも　こんな美しいそば畑



JR小野町駅の南側にでて、
小野アルプスの山並を背に広がるきす野のそば畑　2022.9.12.
小野駅の駅蕎麦「きすみの」は残念ながら時間切れでアウト
ゆっくり来住野のそば畑を眺めながら、帰路に

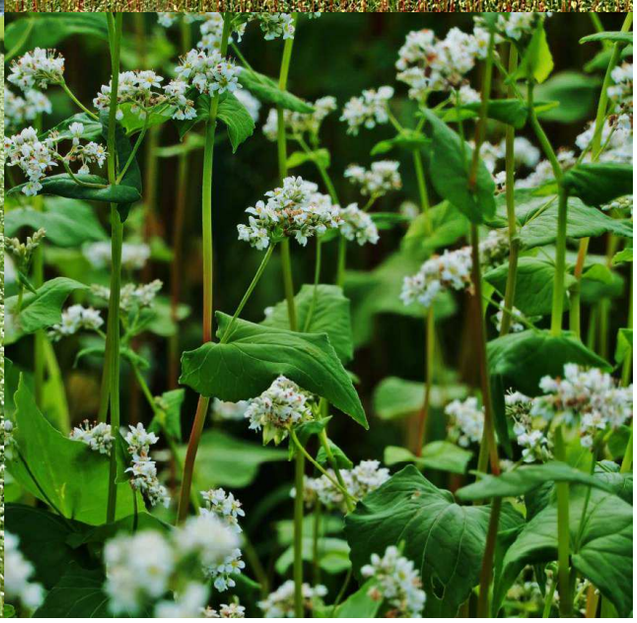


西の鴨池から東へ傾斜地に広がるきす野のそば畑
2022.9.12.
ちょっと時期がはやかったのですが
初秋小野市きすみ野の風物詩
野を真っ白に染める蕎麦の花に出会えました



小野アルプスの山並を背に広がる
来住野のそば畑　2022.9.12.






咲き始めた来住野のそばの花　2022.9.12.
今年も出会えて　うれしい秋の訪れ　ラッキー


咲き始めた来住野のそばの花　2022.9.12.
花言葉は「懐かしい思い出」
今年も出会えて　うれしい秋の訪れ　ラッキー



咲き始めた来住野のそばの花　2022.9.12.
今年も出会えて　うれしい秋の訪れ　ラッキー
機会があれば、もう一度この秋訪ねて
ピンクのコスモス畑と一緒にみられるかなぁ・・・



2022.9.12.　帰路　いつもの上荘橋から加古川西岸の里を眺めながら
今年もうれしい初秋の東播磨の里を駆けまわることができてラッキー
今年は本当に欲張りの原チャリwalk でした





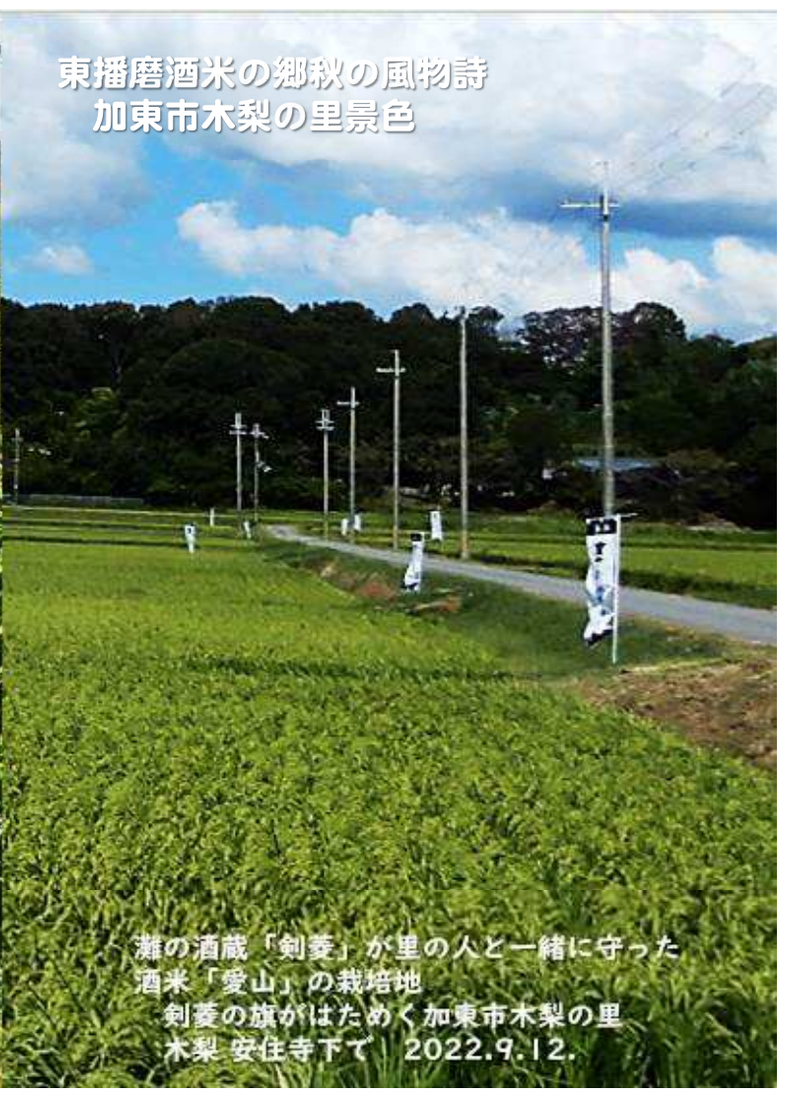


東播磨　初秋の風物詩　田園地帯の里景色　　本当にうれしい風来坊　初秋東神戸を爽快に駆け抜けた原チャリWalkになりました。




東播磨 初秋の風物詩
初秋 東播磨 酒米「山田錦」の里の風物詩
稔りの秋を約束する畔をかざる灘の酒蔵の旗
今年もうまい酒が楽しみ
2022.9.12.　三木市細川町垂穂の里で


東播磨 初秋の風物詩
灘の酒蔵「剣菱」の酒米「愛山」
酒米のダイヤモンド」というらしい
私の知るのは剣菱の酒「瑞穂」に
使われていると聞く
まもなく 芳醇な新酒が出回るのが楽しみ


東播磨酒米の郷秋の風物詩
加東市木梨の里景色
灘の酒蔵「剣菱」が里の人と一緒に守った
酒米「愛山」の栽培地
剣菱の旗がはためく加東市木梨の里
木梨 安住寺下で　2022.9.12.


東播磨 初秋の風物詩
闘竜灘の名の由来
一道の飛瀧地を劈きて開き　怒声豪勢風雷と闘ふ
秋は千巌に入りて霜葉麗し　玉龍躍り出でて錦雲堆む
岩をかんで激しく流れる滝は、まるで竜が闘うようである
――――― 梁川星巌（江戸時代末期の詩人）・
東播磨　初秋の風物詩　飛び鮎　激流 闘龍灘　2022. 9. 12.
ファイト!!　激しい流れに戦う元気を
ファイト!! 戦う君の唄を載せて


東播磨 初秋の風物詩
夏の暑さをふっとばし　元気をもらった飛び鮎の清流
しぶきをあげて流れ下る加古川の流れ　闘竜灘
その水音が心地よし


鶉野(うづらの)飛行場跡戦争遺産巡り
❸鶉野飛行場滑走路跡
当時のままの滑走路跡が残る、全国でも貴重な戦争遺跡です。歩きやすく、散策道も整備されています。周辺には防空壕なども点在しています。
東播磨 初秋の風物詩


滑走路中央部より　北東側から南西に延びる滑走路跡　　2022.9.12.


東播磨 初秋の風物詩
KASAI UZURANO
Soraかさい
scenery opportunity region activity
❶加西市地域活性化拠点施設
「soraかさい」
鶉野飛行場に関連する展示(歴史や飛行機の実物大模型など)、物販・飲食、観光案内、イベントなど各種交流の機能を有しています。
「Soraかさい(加西市地域活性化拠点施設)」前より、南側へ鶉野飛行場滑走路跡


Soraかさい
Soraかさい
加西市地域活性化拠点施設
「Soraかさい(加西市地域活性化拠点施設)」


「Soraかさい」
鶉野飛行場滑走路跡
旧鶉野飛行場
鶉野飛行場
鶉野飛行場滑走路跡と
点在する戦争遺産

東播磨 初秋の風物詩



西の鴨池から東へ傾斜地に広がるきす野のそば畑
2022.9.12.
ちょっと時期がはやかったのですが
初秋小野市きすみ野の風物詩
野を真っ白に染める蕎麦の花に出会えました

東播磨 初秋の風物詩

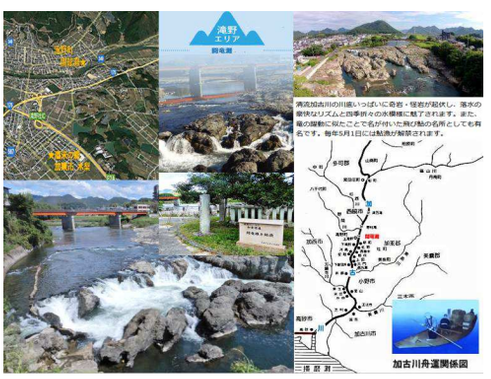
咲き始めた来住野のそばの花　2022.9.12.
花言葉は「懐かしい思い出」
今年も出会えて　うれしい秋の訪れ
God Be With You!!
from Kobe　Mutsu Nakanishi

東播磨初秋の風物詩　酒米の郷 田の畔を飾る酒蔵の旗
毎年私の夏送り 東播磨稔りの秋の田園地帯を原チャリで駆けました　2022.9.12.
世界大戦の歴史をそっくり残す加西市の鶉野飛行場滑走路跡地を初めて見学しました



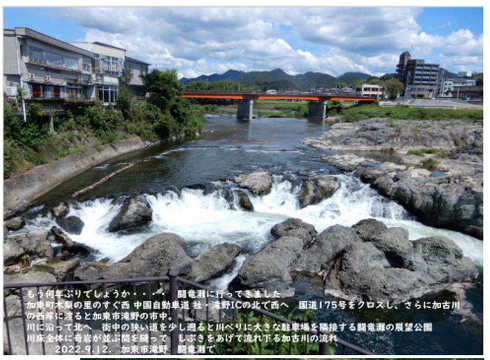




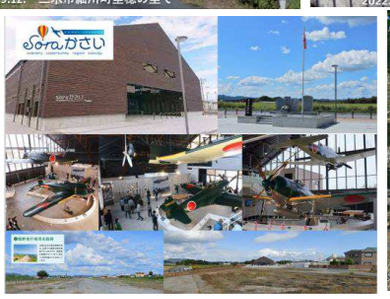














東播磨　初秋の風物詩　田園地帯の里景色　　本当にうれしい風来坊　初秋東神戸を爽快に駆け抜けた原チャリWalkになりました。


2022.9.14. 夕暮れ 高倉山より


2022.9.14. 夕暮れ 高倉山より



2022.9.14. 夕暮れ 高倉山より



2022.9.15. 神戸総合運動公園で